

## 業界初、こんにゃく芋栽培の土壌消毒に適した生分解性を実現 土壌消毒用生分解性マルチフィルム 『ビオフィレックスマルチ GM』

### 3月1日(金)より発売開始

アキレス株式会社(本社:東京都新宿区、社長:日景一郎)は、特定の作物向けに開発した土壌消毒用生分解性マルチフィルム『ビオフィレックスマルチ GM』(こんにゃく芋向け)を2024年3月1日(金)より発売します。

農業分野においても環境負荷の低減が推進される中、群馬県では特産物であるこんにゃく芋の栽培で使用される土壌消毒用フィルムについて、ポリエチレンフィルムから生分解性フィルムへの切り替えが検討されていました。こんにゃく芋は病気に弱く、植え付け前の土壌消毒が不可欠であることから、県内全体で相当量の消毒用ポリエチレンフィルムが必要になり、使用後に発生する廃プラスチックが膨大な量にのぼることが理由でした。

産地の要請を受けた当社が生分解性マルチフィルム『ビオフィレックスマルチ』を提供し、試用いただいたところ、生分解に要する期間に課題があることが分かりました。従来の『ビオフィレックスマルチ』は使用期間を3~4カ月に設定していますが、こんにゃく芋の栽培で土壌消毒用フィルムを使うのは3月からの1~2カ月間と、それより短い期間でした。

そこで当社は『ビオフィレックスマルチ』の生分解性を調整し、こんにゃく芋の栽培カレンダーに適した生分解性を持つ土壌消毒用生分解性マルチフィルム『ビオフィレックスマルチ GM』(こんにゃく芋向け)を新たに開発しました。土壌消毒終了後の施肥作業と同時に鋤き込むだけでフィルムを処理でき、省力化に大きく貢献します。また、廃プラスチック処理が不要のため、CO<sub>2</sub>排出量の削減につながります。さらに、ポリエチレンフィルムと同等のガスバリア性を備え<sup>※1</sup>、消毒後の土壌に被せることで消毒液の大気中への拡散を抑制します<sup>※2</sup>。



写真:『ビオフィレックスマルチ GM』(こんにゃく芋向け)(群馬県内での展張例)

※1 徳島県立農林水産総合技術支援センターで、ガスバリア性について試験を実施。

※2 産地で使用される複数の土壌消毒剤で、大気中への拡散を抑制する効果を確認。

土壌消毒用生分解性マルチフィルム『ビオフィレックスマルチ GM』（こんにゃく芋向け）は、こんにゃく芋栽培の土壌消毒に適した生分解性マルチフィルムとして業界初となるものです。日本バイオプラスチック協会が認証する「生分解性バイオマスプラ」マークを申請中です。当社は、生分解性フィルムの開発で培った配合技術により作物に合わせて生分解の期間を調整することが可能なことから、今後も利用者様や社会のニーズにお応えし、環境配慮型製品の開発、機能向上の取り組みを積極的に進めていきます。

### 『ビオフィレックスマルチ GM』（こんにゃく芋向け）の製品概要

製品名	ビオフィレックスマルチ GM（こんにゃく芋向け）
発売日	2024年3月1日（金）
製品特長	<b>■特定の作物に適した土壌消毒用フィルム</b> こんにゃく芋の栽培カレンダーに合わせて使用期間を1～2カ月に調整。業界初となる、こんにゃく芋栽培の土壌消毒に適した生分解性マルチフィルムです。
	<b>■環境に配慮した生分解性</b> 植物由来原材料を含んだ配合を採用。土壌中の微生物により最終的に水と二酸化炭素に分解されます※。廃棄物の運搬・焼却が不要で、温室効果ガス排出量の削減につながります。日本バイオプラスチック協会が認証する「生分解性バイオマスプラ」マークを申請中です。 ※生分解性は土壌の種類や環境により異なります。
	<b>■土壌消毒効果</b> ポリエチレンフィルムと同等のガスバリア性を備え、消毒後の土壌に被せることで消毒液の大気中への拡散を抑制します。
	<b>■省力化による労力、コスト削減に貢献</b> 使用後にしっかりと踏み込むことで、ポリエチレンフィルムでは必要となる剥ぎ取りや廃棄の作業が不要となり、労力、コストを削減できます。
規格寸法	厚さ 0.02mm × 幅 210cm × 長さ 500m
希望小売価格	オープン価格
販売地域	全国
ホームページ	【アキレス株式会社 コーポレートサイト】 <a href="https://www.achilles.jp">https://www.achilles.jp</a>

#### 本件に関するお問い合わせ先

化成品事業部  
農業資材販売部 企画開発課  
課長 平岡 興二郎  
TEL: 03-5338-9289

#### 媒体からのお問い合わせ先

広報部  
マテリアル販促宣伝課  
河野 あい  
TEL: 03-5338-8226